

■九州朝日放送番組審議会議事概要（4月分）

第572回	九州朝日放送番組審議会 議事概要
開催年月日	平成27年4月13日（月） 午後3時30分～5時
開催場所	九州朝日放送 本社役員会議室
出席者	<p>委員総数 8名 出席委員数 8名</p> <p><b>（出席委員）</b> 光富彰委員長、宇加治恭子副委員長 宇佐見昇委員、藤田ひろみ委員 古宮洋二委員、宮田克彦委員 三好京子委員、松村茂雄委員</p> <p><b>（放送事業者側出席者名）</b> 代表取締役社長 武内健二、常務取締役編成制作局長 半田俊彦 取締役ラジオ局長 清水透、報道局長 佐伯拓史 視聴者・広報室長兼番審事務局長 久芳康治 テレビ制作部長 大保一、番組ディレクター 下川博之 事務局・テレビ編成部 古賀香織、視聴者・広報室 松田泰久</p>
議題	<p>1. テレビ番組 「アサデス。『街角特派員ド★ローカルNEWS』スペシャル～スマホがキャッチした奇跡の瞬間～」 ＜放送日＞2015年3月8日（日）正午～午後0時55分 55分番組</p> <p>2. (1)番組種別の公表報告（平成26年度下期） (2)平成27年4・5月ラジオ・テレビ番組編成状況 (3)平成27年3月視聴者・聴取者応答状況等の報告</p>
議事の概要	<p>◎委員の意見の概要</p> <p>委員からは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日曜の正午からの番組としてのんびりと楽しく見た。裏局の番組は芸能情報が中心であるが、あえてローカルな投稿動画をネタに取り上げたことに敬意を払いたい。</li> <li>○「街角特派員」は自分にもできそうであり、視聴者の誰もが情報発信者となりうる。そういう親近感があった。</li> <li>○迷い犬と心やさしい学生のエピソードが心に伝わり良かった。</li> <li>○SNSもその使い方によっては命を救うことがあると認識した。</li> <li>○これからの番組の在り様を考えた場合、スマホの役割を知らしめる番組として意味があったのでは。</li> </ul> <p style="text-align: right;">などの評価を頂きました。</p> <p>また、気になる点や望むこととしては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○サブタイトルで「奇跡」を謳うほどの内容は無かった。男性リポーターのリアクションも大きさであった。</li> <li>○身内受けする面白ニュースと後半の危険ドラッグなどのニュース映像が混在し、番組の企画意図が不明であった。</li> <li>○鼻に釣り針が引っかかった少年の動画が大賞を獲得したが、何故なのか理解に苦しむ。</li> <li>○子供の鼻水には不快感が残った。</li> <li>○子供が成長後に、自分の好ましくない過去の映像に対してどう思うか配慮が必要。親が承諾すれば良いというものでもないだろう。</li> <li>○投稿者のレヴェルアップが望まれ、局としては演出のセンスで持ち上げていかなければ内容的に厳しいものになるだろう。</li> </ul> <p style="text-align: right;">などの批評や提言を頂きました。</p> <p>これらに対して、担当者から、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○昨年秋の「アサデス。」の放送時間拡大に伴っての企画であった。</li> <li>○投稿動画の背景にあるストーリーを追いかけたら面白い企画になるのではと考えた。</li> <li>○投稿動画の運営管理は報道が行っている。ニュース動画の投稿呼びかけは報道からお願いした。各局御嶽山噴火を契機に投稿動画の収集には力を入れている。</li> </ul> <p style="text-align: right;">などの説明を行いました。</p>